

会 議 録

会議の名称	第3回 行田市社会教育委員会議
開催日時	平成28年3月23日(水) 開会：午前9時30分 ・ 閉会：午前10時45分
開催場所	教育委員会 2A会議室
出席者(委員) 氏名	吉野 道博・長谷見 輝生・尾澤 照男・羽鳥 英樹・大澤 弘・ 松井 隆・島田 英男・渡辺 宏・大平 敏江・島田ユミ子・ 吉野 美の里
欠席者(委員) 氏名	関口 博文・横田 徳司・福嶋 正一
事務局	猪野塚生涯学習部長、杉山ひとつくり支援課長、中島文化財保護課長、 宮崎中央公民館長、石川図書館長、栗本博物館長、橋本スポーツ振興課長、 中村主幹、松本主任
会議内容	1 開会 2 あいさつ 3 議 事 (1) 平成27年度の主な事業の経過報告について (2) その他 ・全国社会教育委員連合の緊急提案について ・平成28年度埼玉県市町村社会教育委員協議会総会・研修会について
会議資料	1 説明資料 2 配布資料「忍・行田公民館新築に係る参考資料」 「社教連の組織存続のための緊急提案」
その他必要 事項	

発 言 者	会 議 の 経 過 （ 議 題 ・ 発 言 内 容 ・ 結 論 等 ）												
事 務 局	<p>市民憲章唱和</p> <p>1 開 会</p> <p>2 あいさつ 渡辺議長 猪野塚生涯学習部長</p> <p>3 議 事</p> <p>(1) 平成27年度の主な事業の経過報告について 各課長から説明を求める。 (説明)</p> <table border="0" data-bbox="475 712 1251 987"> <tr> <td>① ひとり支援課の主な事業について</td> <td>杉山課長</td> </tr> <tr> <td>② 文化財保護課の主な事業について</td> <td>中島課長</td> </tr> <tr> <td>③ 中央公民館の主な事業について</td> <td>宮崎館長</td> </tr> <tr> <td>④ 図書館の主な事業について</td> <td>石川館長</td> </tr> <tr> <td>⑤ 郷土博物館の主な事業について</td> <td>栗本館長</td> </tr> <tr> <td>⑥ スポーツ振興課の主な事業について</td> <td>橋本課長</td> </tr> </table>	① ひとり支援課の主な事業について	杉山課長	② 文化財保護課の主な事業について	中島課長	③ 中央公民館の主な事業について	宮崎館長	④ 図書館の主な事業について	石川館長	⑤ 郷土博物館の主な事業について	栗本館長	⑥ スポーツ振興課の主な事業について	橋本課長
① ひとり支援課の主な事業について	杉山課長												
② 文化財保護課の主な事業について	中島課長												
③ 中央公民館の主な事業について	宮崎館長												
④ 図書館の主な事業について	石川館長												
⑤ 郷土博物館の主な事業について	栗本館長												
⑥ スポーツ振興課の主な事業について	橋本課長												
渡 辺 議 長													
渡 辺 議 長	<p>ご質疑、ご意見はあるか。 (質疑なし)</p>												
渡 辺 議 長	<p>直接関係はないが、社会教育委員は何年か前まで非常勤特別職であったが、現在は委員会の委員となった。周りの市町村を見ると協議会となっているが、どんな経緯でそうなったのか。</p>												
生涯学習部長	<p>元々、任意設置である社会教育委員は独任制の機関（一人一人が独立した立場で職務を行うことができること）であり、それぞれ社会教育の分野でご活躍されている方を委嘱している。社会教育委員会議は、情報交換や違う分野で連携ができるのではないかとということで、委員さん同士の連携・協調を促すため協議会のような形をつくってきた。今後、皆さんからご意見があれば、お聞きしていきたいと考える。</p>												
文化財保護課長	<p>情報提供をさせていただく。これまで文化財保護課では文化財の試掘調査を行う際、現場で排水ポンプのため電気を引くのに難儀していた。今年、日産自動車では電気自動車の普及を図るため自治体に対して無償で貸し出す取り組みを行っており、今回市は電気自動車1台を3年間無償で借り受けることとなり、文化財調査時の発電機に代わる電源車として利用させていただくことを報告する。既に納車されており、市報に掲載する予定である。</p>												
渡 辺 議 長	<p>(2) その他 事務局に説明を求める。</p>												

事務局	<p>① 全国社会教育委員連合の緊急提案について</p> <p>② 埼玉県市町村社会教育委員連絡協議会総会・研修会について</p>
渡辺議長	<p>全国社会教育委員連合の緊急提案については、2月開催の県理事会において急に投げかけられた案件である。資料記載のとおり全国約19,000人の全ての委員1人1任期中に2,000円の寄附を社教連としてお願いし、組織の存続とともにこれまでの取り組みを継続していこうとするものである。あまりにも急な話であり、各都道府県も保留している。</p> <p>(意見)</p>
長谷見委員	<p>社会教育に関する予算は年々削減されている。これまで委員の皆さんは個々で活動しているなか委員同士の連携はなかった。しかし大会や研修会を通じて情報交換を行うことができるようになった。委員は地域のことを考え一生懸命にやることは必要であると思っている。提案内容を理解した上で進めていけばよいのではないか。</p>
生涯学習部長	<p>まず、全国社会教育委員連合の存立意義について、きちんと考えていかなければならない。どういった活動が必要なのか、将来を見据え、市として各部局と協議したうえで、予算について対応していかなければならないと考えている。</p>
渡辺議長	<p>全国社会教育委員連合の緊急提案は、報告にとどめる。</p>
<p>4 閉 会 長谷見副議長</p>	
<p>(追記)</p>	
<p>社会教育委員は、非常勤特別職（地方公務員）であり、会議の際には委員報酬が、出張の際には費用弁償が支払われている。</p>	